

職員がついてこないDX まだ続けますか？

その研修・システム導入、無駄になっているかもしれません！

なぜ、自治体のDXは「**号令倒れ**」になってしまうのか？

DX失敗の最大要因は、推進部門と現場の「**見えない温度差**」です！

推進担当・管理職



計画は完璧だ！

なぜツールを使わないんだ！

現場のやる気が足りない！

VS

現場職員



通常業務で手一杯…

やり方が分からない…

また仕事が増えるのか…

この《ズレ》を放置したまま施策を進めても
予算の浪費と職員の疲弊を招くだけです！

失敗しないDXの第一歩は
「**現在地の可視化**」から！

庁内DX意識・実態調査サービス

自治体のDX推進における「現在地」を客観的に診断し、推進部門と現場職員の「意識のズレ」を可視化するための、全職員を対象としたWebアンケート調査サービスです。

事例ピックアップ 東北地方自治体(市)の場合

調査の結果、「DXが進んでいない」と感じる職員が**84%**という事実が判明。

→ 課題が組織全体で共有され、具体的なアクションプラン(研修・体制構築)の策定がスタート！

「うちの自治体は大丈夫か？」と思ったら

まずは「**無料相談会**」へ(オンライン可)

貴自治体の現状をヒアリングし、調査によって何が解決できるのか、具体的な事例を交えてご紹介します。

